



<今回は介護職員の取り組みを、介護棟にご入居の幸地様のトレーニングケースを交えて紹介します>

2年を超えるコロナ禍は、ご入居者の生活に大きな影響をもたらしました。特に介護棟ご入居者への影響は大きく、ご家族・知人との自由な面会、ご家族との週末の外出や外泊、誕生会や音楽会などご入居者全員集合のイベントの自粛など、環境が一変しました。

この状況を少しでも変えて心身の健康に繋げようと、介護棟ではリビング毎に課題を上げ、リビング担当長を中心に改善に取り組むべく“担当長チャレンジ～ご入居者のニーズを把握～”という活動を行っています。



幸地 様

2015年に沖縄県那覇市よりご入居されました。一般棟で約5年間過ごされた後、身の回りのお手伝いが必要になられ、介護棟へ住み替えされました。穏やかな柔らかい笑顔が印象的な方です。

読書好きで、毎日眠くなるまで集中して楽しむほど♪

一般棟でお過ごしの際も、多方面に造詣深い幸地様との会話を職員も楽しんでいました。

<課 題>

読書好きの為、居室にこもりがちな幸地様。居室ではほとんど座って過ごされているので、日常生活動作の低下が心配されています。ご本人の負担にならないように、少しでも日中の活動量を増やしていこうと考えました。

<目 標>

足の筋力をつけ4階にある図書室に行き、好きな本を借りることを目標にしました。現状も居室内や近距離なら歩行器を使って歩けるので無理な目標ではないと考えました。

<具体策>

歩行器を使った散歩、機能訓練、下肢トレーニング等の個別トレーニングメニューを計画・実施しました。



1月よりスタートし、歩行できる距離も徐々に伸びてきています。「この図書室は本が沢山あるので目標達成が楽しみです」と嬉しそうに話す幸地様。

リビング担当長の上江洲さんは「幸地様はトレーニングをお休みされることもなく順調に行っています。いつも物静かな幸地様ですが、トレーニング中にお話される幸地様ヒストリー(!)を聞けるのがとても嬉しいです」と幸地様に歩調を合わせながらで目標達成に向け目下チャレンジ中です!!

また、他のリビングではストレッチ体操の強化やレクリエーション活動などのテーマに取り組んでいます。

ご入居の皆様の生活の質の向上、チームの活性化を目指し日々活動を続けて参ります!!